

建国科技大学（台湾）

国際文化交流学部 国際文化交流学科 雁行 七羽

留学期間：2022.09.21～2023.02.07

建国科技大学の留学生活について紹介します。大学の授業についてですが、私は観光と留学生向けの中国語の授業を履修しました。1日のうちに履修するのは、1コマから3コマのため、自由に過ごせる時間は比較的ありました。授業は全て中国語のため、何も聞き取れない時間もありましたが、授業後に先生のもとに質問しに行ったり、クラスメイトに聞いたり、親切に教えてくれました。授業で行う定期試験も先生やクラスメイトがサポートしてくれたおかげで、無事に単位を取ることができました。

次に生活面について紹介します。コロナ禍の留学ということもあり、台湾に到着してから約一週間、ホテルでの隔離生活からスタートしました。10月に入ってからようやく外出できるようになりました。寮は建国科技大学の敷地内にあります。私の部屋は4人部屋で、友人と一緒に部屋だったこともあり、不安とかも特になく生活を送ることができました。寮にはキッチンがないため、食事は基本外食となります。台湾には日本人の口に合う美味しいものが沢山あるので食べ物には困らないと思います。生野菜を摂取することが難しいので、太らないよう、日々の食事に気をつかう必要があります。建国科技大学から徒歩10～15分くらい歩いたところに“大埔路”というお店が沢山並んでいるところがあります。私は友人と毎日歩いてそこまで食事を買って行っていました。建国科技大学にある食堂も美味しいのでお勧めです。休みの日は友人と夜市に遊びに行ったり、バスや電車に乗って旅行もすることができました。自分の行きたい場所に行くことで、有意義な時間を過ごすことができました。

台湾での留学生活は本当にあつという間でした。5か月弱という短い時間の中で多くの経験ができたのは、自分の成長に繋がっているように感じます。特に印象に残っているのは、台湾の方の見返りを求めない優しさです。困った状況になった際には、手を差し伸べてくれるはずです。留学に行く前は多少不安でしたが、振り返ってみると楽しかった思い出ばかりです。少しでも留学に興味を持っている、行ってみたいという方にはぜひ挑戦してほしいと思います。



日台交流パーティーに参加した時の写真